

しゅっこうしき

9/1(土)ふぐはえ縄漁船の出航式がおこなわれました！

下関と言えば『ふぐ（下関の人は「ふく」）』、ふぐ漁と言えば『ふぐはえ縄漁』が有名ですが、今年もふぐ漁の幕開けに合わせ、9月1日（土）、下関市地方卸売市場南風泊分場にて、ふぐはえ縄漁船の出航式がおこなわれました。

あいにくの雨模様でしたが、式には、漁業関係者や、市場関係者などおよそ80人が参列され、関係者の挨拶、乾杯等の後、ふぐはえ縄漁船の代表船3隻が、多くの人々に見送られながら元気に出航していきました。

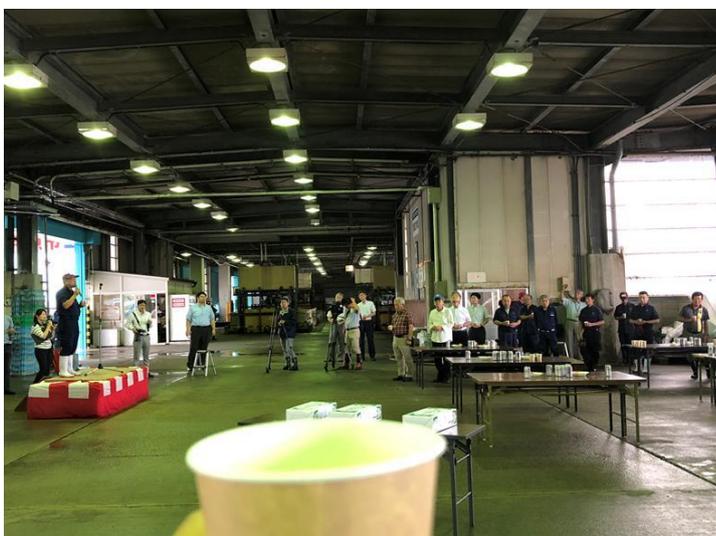
たくさんのマスコミの方々が取材に訪れ、多くの人々が、今年のふぐ漁に高い期待を寄せていることがうかがえました。

漁業者の皆さんには、安全操業で、そして私たちにたくさんの美味しいフグを届けてほしいですね。私たち下関水産振興局も応援しています！



関係者によるあいさつのようす

挨拶の中で、県内漁業関係者が、53万尾のトラフグ種苗を放流するなどの資源を増やす努力をされていることが紹介され、フグ食解禁130年の節目にふさわしい相場を期待する旨のお話がありました。



乾杯のようす

今回出航される3船主（興秋丸、祥栄丸、増栄丸）のみなさんに航海安全と大漁を祈念してお神酒が進呈され、壮行を兼ねて、みんなで乾杯しました♪



式典が終わると、いよいよ出航です。

今年も多くの方が見送りに来られていました。



マスコミのみなさんも熱心に取材されていました。

今シーズンのふぐはえ縄漁に対する期待の高さがうかがえます。



出航するふぐはえ縄漁船

漁師のみなさん、気をつけて、
今シーズンもたくさんフグを
獲ってきてくださいね♥



なお、出航した3隻のふぐはえ縄漁船には、沖で放流するトラフグの稚魚約4千尾が積み込まれました。

大きくなって、私たちのもとに帰ってきてほしいですね♪